

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 15日		～ 2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2026年 1月 15日		～ 2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の方針である、本人主体の支援、家族支援、ライフサイクル支援について、発達の本盤となる基本的人間関係の形成を基盤とし、法人としての実践を継続し積み重ねていきます。	保護者、子どもの立場に立った支援を目指し、職員同士の情報共有を大切にしています。会議には児童発達管理責任者、管理者、同法人の保育園の職員が参加し。支援の在り方を検討していきます。	・子どもの主体性を尊重した支援を大切にします。 ・子どもを理解する基本的な視点として、行動の背景にある心に焦点を当てる、子どもの全体像を見る、家族を含めた生活全体から見ることに取り組みます。
2	家族支援として、家庭や事業所での、子どもの状況を話し合います。	・個別相談では、丁寧に保護者の不安や心配に耳を傾けていきます。 ・定期的にグループ相談を開催し、保護者同士が交流する機会を持ちます。学齢期に起こる諸問題について、子どもの意見を聞きながら保護者に対応を検討します。	・家庭と事業所が協力する関係を築き、子どもにとって安心できる環境やかかわりのあり方を保護者と一緒に考えます。 ・保護者が子どもへの理解を深め、余裕をもった子育てができるように支援していきます。
3	同法人の児童館子どもの家での活動をベースとし連携することで、子どものより良い支援を目指します。	・児童館の子どもたちと活動を共にすることで、遊びや友達同士のコミュニケーションの経験を積みます。 ・外出や児童館の行事と一緒に参加しています。 ・日常的に児童館と家庭や子どもの状況について情報を共有し、関係者で会議を実施します。	・大人との信頼関係を基盤として、他の子どもの様子や活動に関心を持ち、興味の幅が広がるように支援します。 ・必要に応じて個別対応を行います。・毎週定例会を実施し、児童館職員、管理者とサービス担当者会議を開催し、支援課題の共有を行います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	防災の取り組みは法人内の防災委員会の事項を職員間で周知し、防災への意識を高めます。	保護者への防災の取り組みの周知が不十分です。	同法人保育園、ベビーホーム、本部と協力して訓練、研修を企画します。各事業所や担当が役割をもち、避難訓練を実施します。月一回火災、地震、不審者の避難訓練を実施しています。子どもたちにビデオ視聴の機会をもち理解を深めるようにしています。保護者に対して、防災への取り組みや訓練の報告をお知らせしていきます。
2	研修は法人全体で企画、参加しています。	それぞれの理解を深めるには職員の経験年数に応じた研修が必要です。	法人内の研修委員と協働し、事業所として専門性に応じた内容を検討します。経験年数、テーマ別研修を企画し、人材育成に取り組みます。
3	家族支援としての、定例会グループ相談の周知が必要です。	保護者が参加しやすい、日程、時間の設定を工夫します。	個々の参加可能な時間に配慮してグループ相談を企画していきます。内容を保護者に報告するなど、参加してみようと思ってくれるような取り組みをしていきます。